

令和6年度運動目標

我が国有数の豪雪地帯である上越・魚沼地域は、少子高齢化・過疎化が進行するなど諸課題を抱えているが、活力ある地域社会の創造と若者の定住を促す地域づくりを目指し、地域活性化策に積極的に取り組んでいる。

上越魚沼地域振興快速道路は、北陸自動車道や上信越自動車道と関越自動車道のネットワーク効果をさらに向上させ、地域間や首都圏との物資の流通及び人の交流をより活発化させるとともに、通勤圏域の拡大や都市と農山村地域との連携強化による地域集積圏の拡大など、上越・魚沼地域の今後の発展と安定に欠くことのできない道路である。

平成19年7月に発生した中越沖地震では、北陸と長岡市方面とを結ぶ北陸自動車道や国道8号が通行不能となり、国道253号が代替道路の役割を果たしたものの、交通が集中したことにより渋滞を引き起こした。

さらに、令和4年12月の大雪では、北陸自動車道と国道8号において同時通行止めが発生し、物流に大きな影響を与えたことなどから、本道路が避難経路として重要であることを改めて認識したところであり、本年1月1日に発生した能登半島地震を代表とする近年激甚化、頻発化している地震や豪雨・豪雪など災害の状況を踏まえ、平常時だけでなく、災害時においても安定した交通や物流の確保が必要不可欠である。

これらのことから、災害時の代替機能をより発揮するとともに、冬期の安全で円滑な交通の確保や深刻化する地域医療に対する不安を解消するためにも、高規格道路である本道路の着実な整備推進が求められているところであり、本路線の全線早期供用開始に向け、次の事項に積極的に取り組んでいくものとする。

1. 上越魚沼地域振興快速道路の早期完成に向けた要望活動

- (1) 整備区間の整備促進を図ること
 - ①「上越三和道路 鶴町IC～(仮)三和IC間」
 - ②「三和安塚道路(仮)三和IC～浦川原IC間」
 - ③「十日町道路 北鑑坂～八箇IC間」
 - ④「八箇峠道路 野田IC～(仮)余川IC間」
- (2) 未着工区間の調査推進及び早期着工を図ること
 - ①「上越市安塚IC～十日町市松代間」
 - ②「十日町市松代～十日町市北鑑坂間」
- (3) 高規格道路を始めとする道路網の整備推進のため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても、必要な予算・財源を確保すること
- (4) 令和6年能登半島地震などを踏まえ、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、必要な予算・財源を別枠で確保すること
- (5) 上越地域と魚沼地域の生産性を更に向上させ、ひいては我が国の成長力及び国際競争力を強化するため、平常時・災害時を問わず、安定的かつ安全・円滑に利用可能な道路ネットワークの確保に向けた重要物流道路の重点整備を図ること

2. 高規格道路の整備に関する課題等の調査研究